

持続可能な社会を子どもたちへ

SDGsのくらし⇒いま 私たちにできること

世界が抱えているさまざまな問題を 2030 年までに解決することを目指した
持続可能な開発目標(SDGs)の理念は **地球を破壊から守ること**

「 誰一人 取り残さない 」 「 つくる責任 使う責任 」

人・社会・地球の今と未来の幸せのために、おもいやりと責任をもって行動する。

SDGsのくらし 2030 17 項目の目標

- ☆ゴール1 貧困をなくそう
- ☆ゴール2 飢餓をゼロに
- ☆ゴール3 すべての人に健康と福祉を
- ☆ゴール4 質の高い教育をみんなに
- ☆ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう
- ☆ゴール6 安全な水とトイレを世界中に
- ☆ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- ☆ゴール8 働きがいも経済成長も
- ☆ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- ☆ゴール10 人や国の不平等をなくそう
- ☆ゴール11 住み続けられるまちづくりを
- ☆ゴール12 つくる責任つかう責任
- ☆ゴール13 気候変動に具体的な対策を
- ☆ゴール14 海の豊かさを守ろう
- ☆ゴール15 陸の豊かさも守ろう
- ☆ゴール16 平和と公平をすべての人に
- ☆ゴール17 パートナリーシップで目標を達成しよう



生活と自治 2021年9月号より

しかし、17の目標は遅々として進まず、現状はロシアのウクライナ侵攻に始まり、世界のあちらこちらで紛争が起きていたり、気候危機、核兵器の脅威など“平和”とは真逆の不安な日々が続いています。日本では12年前の福島原発事故の原因究明や始末も行き当たりばったりで、震災直後の「脱原発」の施策は、ウクライナの原子力発電所が狙われ危険な筈なのに、発電所「再稼働」検討の話も出ており、子どもたちへ未来を引き継ぐことはできません。いま 私たちにできることは、

エシカル（倫理的）な消費をする = 商品を買うということ
買うことは投票 ⇒ 企業もエシカルな商品を作り、社会が変わる

地産地消のSDGsの暮らしをこどもたちへ

日本の食糧自給率は38%（カロリーベース）、エネルギー自給率は11.8%で、先進国の中でも極めて低く、エネルギー資源のほとんどを、海外からの輸入に頼っている暮らしです。このまま続けば、子どもたちの未来も不安な状況です。

地域での地産地消のSDGsの暮らしにスイッチ！ ⇒ 社会が変わります

わたしたちは住んでいるまちで、**F=食料の地産地消** **E=再生可能エネルギーの地産地消**
C=互いに助け合う(ケア)コミュニティづくり を心がけ、**人や地域の資源をつなぎ、共生の輪をひろげ、SDGs持続可能な暮らしをすれば、世界につながり、子どもたちの未来へ引継ぐことができます。**

C = 福祉の共生のまち 地域でお互いに助け合うコミュニティの形成

F = 食料の自給圏の形成

住んでいるまちで生産者と共生の食生活

E = 再生可能エネルギーの地産地消

この夏は、最高気温 35℃以上の猛暑日が 64 日間続き、電力需給がひっ迫し、農産物の収穫に影響が出ました。また、鳥インフルエンザにより、これまで長年安定価格といわれていた卵の価格が高騰。①原油価格の高騰 ②原材料価格の高騰 ③輸送費の高騰が原因で食品や日用品などにも影響し、約 35000 品目の値上げラッシュとなりました。いずれも私たちの暮らしを圧迫するばかりです。そして「電力不足に陥る」と危機感をあおる声も挙がっています。電気代の燃料調達費は大幅にアップし、12年前の福島原発事故の後始末が進まないままの原発再稼働、さらに、安全性が疑問視される処理水（汚染水）の海への放流という方向転換への驚きと同時に、子どもたちへこの海を引き継ぐのかと怒りさえ覚えます。SDGsの暮らし=消費者の8つの権利を獲得すると同時に5つの責任を忘れないで！

< 消費者の8つの権利 >

- ① 安心して豊かな消費生活を営むために、基本的な需要が満たされる権利
- ② 健康的な環境が確保される権利
- ③ 安全が確保される権利
- ④ 選択の確保がされる権利
- ⑤ 被害が救済される権利
- ⑥ 情報が提供される権利
- ⑦ 意見が反映される権利
- ⑧ 消費者教育の機会が提供される権利

< 消費者の5つの責任 >

- ① 批判的意識をもつ責任
- ② 社会的弱者への配慮責任
- ③ 主張し行動する責任
- ④ 環境への配慮責任
- ⑤ 連帯する責任

私たちができることは、省エネでCO₂削減

“地球は人間なしでも存続できるが、私たちは地球なしでは存続できない”

(国連副事務総長アミーナ・モハメッドの 2017 年のメッセージ)

今年 7 月、国連の事務総長は「地球は沸騰化の時代に入った」と語り、危機感をあらわにしました。「地球沸騰化」により、北極、南極の氷床が融解したり、熱帯雨林の乾燥化での大火災や海水温度上昇により陸も海も生態系を破壊される状況にあります。

他にも、日本を始め世界中で 40℃超の酷暑日を記録したり、世界各地で経験したことのない水害や土砂災害が起きたり、インドヒマラヤの氷河湖決壊の洪水災害が起きています。二酸化炭素濃度上昇に伴い気温も依然上昇しており、地球沸騰化が止まりません。

2022 年、国連とメディアによる共同キャンペーンで「1.5℃の約束—いまずぐ動こう、気温上昇を止めるために。」という番組が放映され、2023 年も継続しています。

灼熱の惑星「人間が住めない地球」へと進行中！

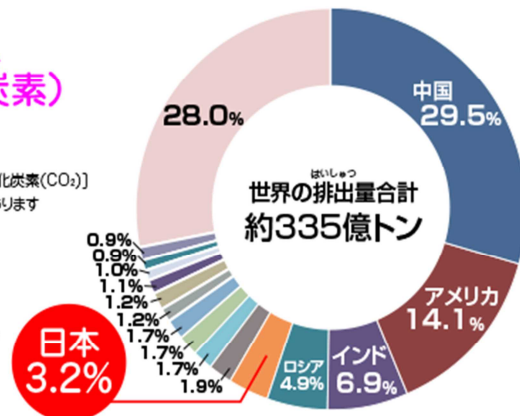
※地球沸騰化は、地球環境の最大の危機！

※子どもたちへは、つなげない未来です！

2019年

世界のCO₂(二酸化炭素)排出量(国別排出割合)

※排出量の単位は[百万トン-エネルギー起源の二酸化炭素(CO₂)]
四捨五入のため、合計が100%にならない場合があります

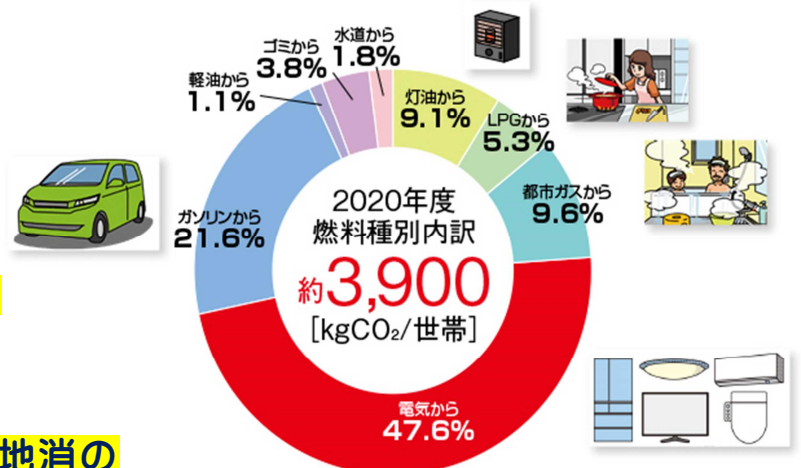


出典：EDMC/エネルギー・経済統計要覧 2022 年版

<<< 二酸化炭素(CO₂)は排出量世界 5 位の日本 どう減らす? >>>

<原因は?>エネルギー消費量が年々増加 ⇒電気の使用量は 50 年で 4 倍以上 (1960 年からずっと CO₂大量排出国)

- 発電方法は約 7 割が火力発電
- 森林伐採による二酸化炭素循環機能の破壊
- ◎石油・石炭・天然ガス(LNG)などの化石燃料 90%が輸入



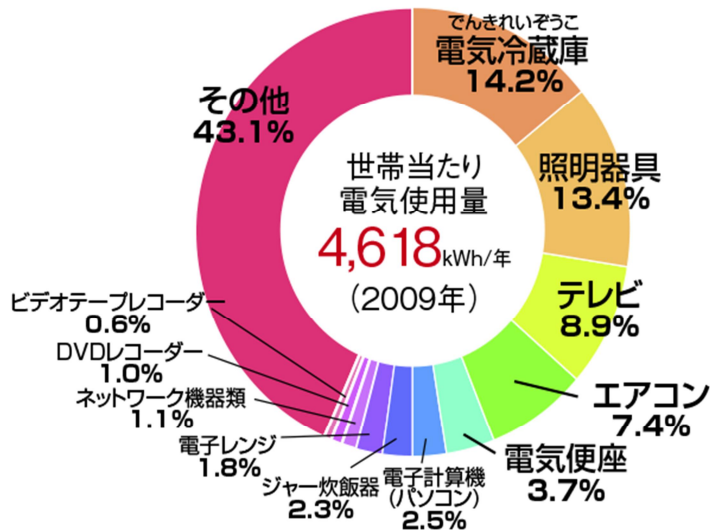
***国内の二酸化炭素排出量は家庭からの CO₂排出量が一番多い！中でも電気からがダントツ！**

エネルギー消費は化石燃料の使用をやめて、太陽光発電など地産地消の再生可能エネルギーを選び

<< すぐ大幅な脱炭素化へ 省エネの暮らしへエコアクション! >>

くらしの省エネスタート！ CO₂削減

くらしの快適さや便利さを支えている冷暖房機器や家電製品には、電気やガス、灯油などのエネルギーが使われています。エネルギーの内訳はほぼ半分以上が電気です。



出典：資源エネルギー庁ウェブサイト

電力の自由化で電力会社を選べます。12年前の福島原発事故後「脱原発」化が進み、化石燃料依存度を減らす事は子どもたちへの私たちの責任です。今各地の自治体で「ローカルSDGs」に取り組んでいます。消費者団体も国内で調達できる他太陽光発電（リチウム蓄電池）、水力発電、風力発電、バイオマス発電、地熱発電、風力発電などの再生可能エネルギーを利用した電力使用の推進をしています。和光市では総合福祉会館、南地域センター、南保育園、しらこ保育園、新倉小学校、下新倉小学校、大和中学校 5カ所に太陽光発電を取り付けています。

☆子どもの未来のために⇒電気は国産の再生可能エネルギーの電力会社を選びましょう
地産地消の再生可能エネルギー購入し、省エネに取り組めばCO₂削減につながります。

家庭からの二酸化炭素 (CO₂) 排出量、どこから減らす？

～家族みんなで実践～



- 家電・機器も毎日エネルギーを消費
- 家電・ガス機器・自動車、上手に選んで一人ひとりが自分のできる省エネに取り組むことで大きな効果に！

一人当たり/日の目安

とりくみ内容	減らせるCO ₂ の量
使う時だけプラグを入れる	44g
自動車を使わずバスや電車、自転車を利用する	192g
手や顔を洗う時、お湯を使わない	161g
お風呂の湯で頭や体を洗い、シャワーを使わない	414g
シャワーを使う時間を1分短くする	83g
上履きはお湯ではなく水で洗う	133g
近くでとれた食品を買う	
牛肉100gあたり	25g
マグロ1さく200gあたり	33g
キャベツ1個1200gあたり	198g

出典：経済産業省資源エネルギー庁

電気料金の仕組みを知り省エネ

○毎月各戸に入る電気使用量明細書をチェックして省エネしましょう！

電気契約 ○○A

ご契約種別 従量電灯B

ご請求金額

(内消費税)

基本料金

電力量1段料金

電力量2段料金

電力量3段料金

燃料費調整額

再エネ発電促進賦課金

電気検診日

使用期間

使用量 KWh

前年同月使用量

前月使用量

アンペア(A)数と基本料金

参考) 東京電力 EP

10A	20A	30A	40A	50A	60A
295.24円	590.48円	885.72円	1180.96円	1476.20円	1771.44円

基本料金は売電業者によって異なります。家で必要なアンペア数は、家のすべての電化製品のアンペアの合計ではなく、同時に使う最大の電化製品で計算します。

point!

①契約アンペアに合わせて電気使用をする

②アンペアをダウンすることで無駄な発電を抑え、電気料金がお得になる。

三段階料金…従量料金(使用した電力量に応じてかかる料金。電気使用量が一定量を超えると、単価が切り替わります)

- ・ 1段料金：使用量が月間 0～120kwh 30.00円
- ・ 2段料金：使用量が月間 120～300kwh 36.60円
- ・ 3段階：使用量が月間 300kwh以上 40.69円

燃料費調整額

「電力量料金」には、火力発電の燃料価格の変動分を毎月調整する「燃料費調整」の仕組みが取り入れられています。このため、毎月、原油、LNG、石炭などの燃料価格が上がると、電気料金上がり(上限あり)、燃料価格が下がると電気料金下がる(下限なし)仕組みとなっています

再エネ発電促進賦課金

(再生可能エネルギー発電促進賦課金)

「再生可能エネルギーの固定価格買取制度(FIT制度)」に基づき、各電力会社は国が定めた一定期間・価格で再生可能エネルギー源を買い取ることが義務づけられています。再生可能エネルギーの普及を推進するために、再生可能エネルギー発電促進賦課金として支払うことになっているのです。再エネ賦課金は使用した量に応じて課金される仕組みとなっています。単価は全国一律で、22年度は3.45円/kWhでしたが、23年度は1.4円/kWhになっています。電気の使用量×単価で金額が算出されます。

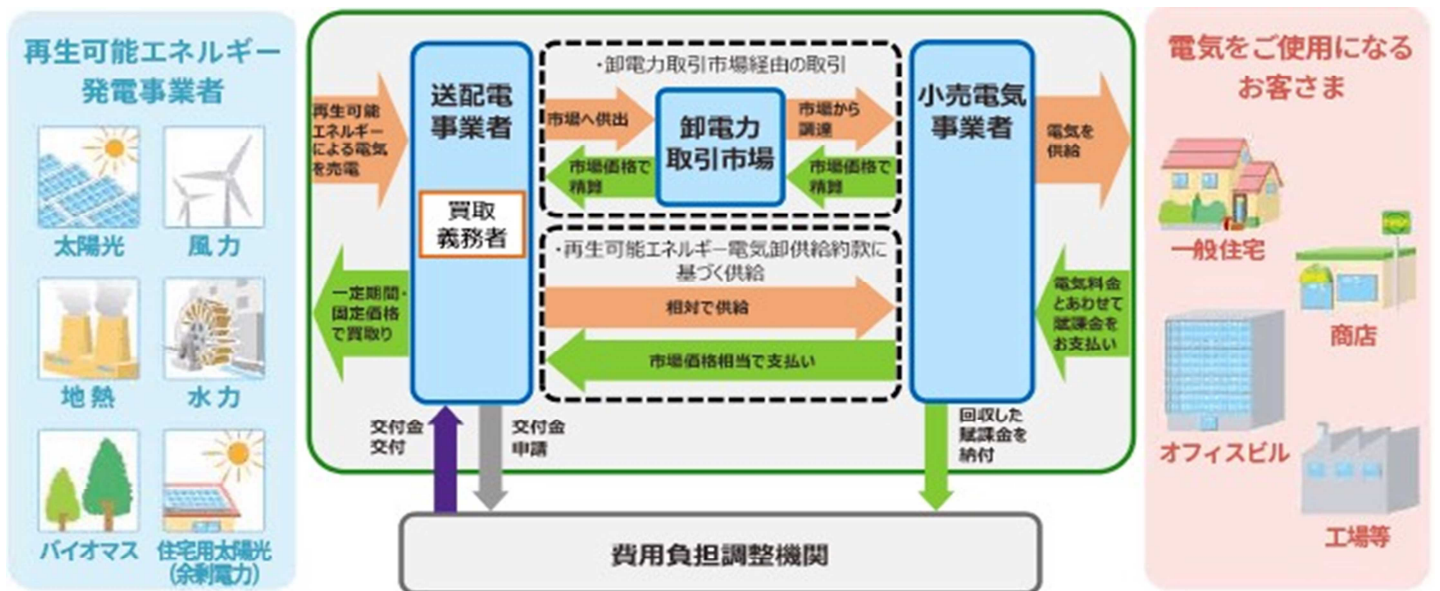
☆電気料金は、一般的には、アンペア数に応じた「基本料金」に加え、毎月の使用量(kWh)に応じた「電力量料金」や「再エネ発電促進賦課金」の合計で計算されます。電気料金の中には、送配電事業者を支払う「託送料金」も含まれています。

再生可能エネルギー(太陽光発電、水力発電、バイオマス、地熱、風力発電など)は国内自給が可能、枯渇せず、どこにでも存在します。CO₂を増やさず、発生させないため、安心して子どもたちへ引き継ぐことができます

そもそもの電気料金のしくみ

暮らしにあたりまえで、しかし目に見えない電力が、発電所から我が家に届くまでの仕組みについて見てみましょう。

発電→送配電事業者→小売電気事業者→自宅に届くまでの仕組み



経済産業省 資源エネルギー庁ホームページ掲載資料をもとに作成

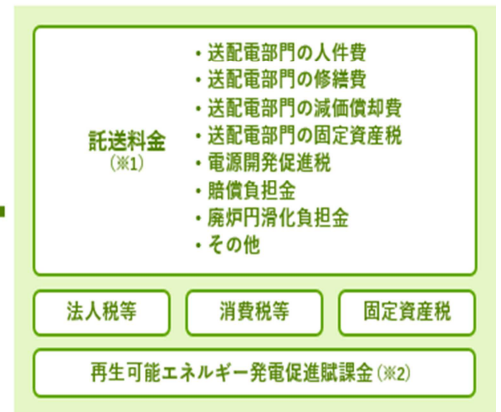
電気事業法では発送電分離が定められています。しかし、現実には発電は、さまざまな事業者が運営していますが、東電管内の配電部門を運営しているのは東電の系列会社である東京電力パワーグリッド（株）のみです。例えば、生活クラブエナジーの場合、組合員のアンペア契約の総数で送電量を調整されるので、余分には送電されません。

託送料金とは：送配電網の利用料金・地域の一般送配電事業者が設定しており、小売電気事業者は販売電力量に応じて送配電事業者へ支払います。

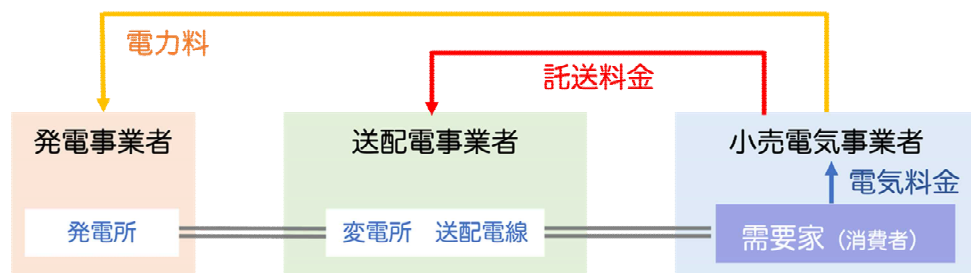
事業者の裁量で算定される費目



法令等により算定される費目



出典：料金設定の仕組みとは？ | 経済産業省



☆共同購入の生活クラブ生協は「脱原発」の社会をめざし、再生可能エネルギーを「つくる」「使う」を柱に省エネと再生可能エネルギーの利用を推進しています。(株)生活クラブエナジーを設立し、「生活クラブでんき」を組合員に供給電力の60%を再生可能エネルギーの発電所から届けています。